

第2期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI一覧

基本目標	数値目標	現状値	R3	R4	R5	目標値 (R6)	
基本目標1	町内企業等の従業者数 (件)	16,913	16,913	16,913	16,913	16,913	基本目標1における数値目標である「町内企業等の従業者数」及び「製造品出荷額」は、本基本目標における「雇用」「地域経済の状況」を表すものとして設定されています。目標値については、今後の推計で生産年齢人口が減少していくことを踏まえ、現状値維持以上を目標としています。
	製造品出荷額 (億円) (R元)	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117	
基本目標2	転入者数 (人) (現状値: H23~R6、目標値: R6)	2,016	2,100	2,100	2,100	2,100	基本目標2について、前計画における数値目標である「総人口」は、総合戦略全体の数値目標であることから、人口の社会増を目的とする本基本目標の数値目標として、その主なターゲットである「生産年齢人口」を設定しています。
	R7年4月1日時点の生産年齢人口 (人) (R元)	29,138	28,710	28,615	28,454	28,388	
基本目標3	合計特殊出生率 (%) (H30)	1.32	1.60	1.60	1.60	1.60	基本目標3における数値目標について、目標数値である「合計特殊出生率」は、目標人口推計の前提条件として設定している数値を目標値とし、「年少人口」は、目標人口推計におけるR7年4月時点の数値を目標値として設定しています。
	R7年4月1日時点の年少人口 (人) (R2)	6,299	6,142	6,082	5,994	5,991	
基本目標4	R7年4月1日時点の20代の人口 (人) (R元)	4,695	4,468	4,474	4,447	4,441	基本目標4における数値目標は、町の持続性を表す指標として、転出の多い若い世代の人口を目標数値として設定しています。また、住み続けたい街であることを表す指標として、本計画の基礎調査における「町民アンケートによる定住意向」(「ずっと住み続けたい」「当面の間住み続けたいの割合」)を設定しています。まちの持続性を測る指標としてこの2点を設定し、これを構成する要素として、同町民アンケートにおける居住地選択に最も寄与する項目であった、「治安」に関する数値目標を設定しています。目標数値については、「20代の人口」は目標人口推計の目標数値、「定住意向」は社会増減が好調である現状の水準を維持するという考えから現状値以上を目指して設定しています。犯罪件数については、減少目標をKPIで測り、数値目標では町の持続性=選ばれる町の基準として、圏域内で比較しても治安の良いまちであることを目指して設定します。近隣5市(茅ヶ崎市、藤沢市、海老名市、平塚市、厚木市)の平均値との差を設定し、現状では寒川町は近隣比較でやや良い状況(平均-0.1件)であることから、選ばれる自治体であるために、現状値以上の状況を目指す数値設定としています。
	町民アンケート調査による定住意向 (%) (R2)	85.8	85.5以上	85.6以上	85.7以上	85.8以上	
	人口千人あたり刑法犯認知件数の近隣5市平均との差 (R元)	-0.10	-0.7以下	-0.8以下	-0.9以下	-0.10以下	

施策	KPI	現状値	R3	R4	R5	R6	
施策1	相談・支援企業数 (経営課題整理、事業計画、事業承継) (件)	15	16	17	18	19	基本目標1におけるKPIについては、アウトプットのKPIとして「相談・支援数」、その結果によるアウトカムのKPIとして、商業分野では「創業者数」及び「小売店舗数」、工業分野では「法人町民税を納めている企業数(件)」を設定しています。
	創業者数 (件)	20	20	24	24	24	
	小売店舗数 (件)	217	217	217	217	220	
	製造業で法人町民税の法人割を納めている企業数 (件)	102	102	102	102	102	
施策2	観光客数 (万人)	201	198	198	200	200	基本目標2におけるKPIについては、「観光客数」は前計画から引き継いでいます。タウンセールスに関するKPIは、アウトカムの指標として、移住・定住における町の取り組みの成果を測る指標として「町に対して良いイメージを持って転入した人の割合」及び「町民のブランドスローガン「高座」の認知度」を設定しています。
	町に対して良いイメージを持って転入した人の割合 (%)	59	61	75	77	79	
	町民のブランドスローガン「高座」の認知度 (%)	31	-	33	-	35	
施策3	子育て支援センター利用者数 (人)	8,521	9,490	9,540	9,610	9,670	基本目標3におけるKPIとして、子育てのしやすさ(安心感)を表す指標として、支援に繋がっている人の数(「子育て支援センター利用者数」と「子育て支援センター利用者の満足度」)を設定しています。また、未就学児及び学齢期の子を持つ世代の子育て環境を表す指標として、保育園における「待機児童数」のほか、児童クラブにおける「待機児童数」を設定しています。また、「魅力的な教育」の提供と「生きる力」の向上を図るKPIとして、「英語の勉強が好きな子どもの割合 (%)」及び「全国学力・学習状況調査における課題解決に向けて自ら考え、行動する子どもの割合 (%)」を設定しています。
	子育て支援センター利用者の満足度 (%)	-	100	100	100	100	
	待機児童数 (保育園) (人)	5	0	0	0	0	
	待機児童数 (児童クラブ) (人)	26	0	0	0	0	
施策4	英語の勉強が好きな子どもの割合 (%)	54	58	62	66	70	
	全国学力・学習状況調査における課題解決に向けて自ら考え、行動する子どもの割合 (%)	71	73	75	77	80	
施策5	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数 (件)	83	77	74	71	68	基本目標4におけるKPIについて、「空き巣等の年間発生件数」は、これまでの減少トレンドから毎年約4%の減少を測り、「若い世代の協働件数」は、年1件ずつ新たな取り組みを行っていくことを目指しています。「コミュニティバス利用者数」は現状値 (R元年度) に対し、新型コロナウイルス感染症による利用者の減少を踏まえ、その水準からの回復を目指して設定しています。これらのKPIは、町の持続性や定住意向への寄与度の高い「治安」「快適性」「若者世代」を表す指標として設定しています。
施策6	若い世代による協働に向けた取り組み件数 (累計) (件)	6	7	8	9	10	
施策7	1ヶ月あたりのコミュニティバス利用者数 (人)	5,397	4,200	4,260	4,320	4,380	